

## 臨床研究のお知らせ

### 研究課題名：

外科手術後のオンダンセトロン注ルーチン投与（パス運用への導入）による PONV 発症抑制効果についての後ろ向き観察研究

### 目的と意義：

術後の悪心・嘔吐 postoperative nausea and vomiting: PONV（以下 PONV と略します）は手術に伴い比較的良好とみられる合併症であり、離床（手術後の安静が解除され、起きたり歩いたりを開始すること）や食事摂取の再開を妨げ、術後回復を遅らせるとともに、患者さんの QOL に悪影響を及ぼします。

2021 年 8 月に我が国で、PONV 発症予防にエビデンスのあるオンダンセトロンの術後使用が保険適応となり（それまでは抗がん剤による悪心・嘔吐の予防に使用していました）、手術を受ける患者さんへの使用が可能となりました。当院では、一部の外科手術を受ける患者さんに、オンダンセトロン注のルーチン投与を開始しました。これにより PONV の発症抑制に効果的であったか、またその費用対効果を評価することを目的としています。

薬の効果を検証し、適切な使用を推進することは薬剤師の使命であると考えます。本研究の成果を、より良い医療に貢献するために役立てたいと考えています。

### 研究内容の概要：

外科手術（腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下虫垂切除術、鼠径ヘルニア修復術）を行った症例を抽出し、オンダンセトロン注の術後ルーチン投与を開始した群とそれ以前の非投与群について、個々の患者さんの PONV リスク因子、手術室での制吐剤（吐き気止め薬）の使用状況、術後の PONV 発症の有無、制吐剤の追加使用状況、術後初回の食事摂取の状況、退院までの日数などのデータを集積し、検証します。

対象となる方は、2022 年 8 月から 2023 年 2 月の間に当院外科で上記手術を受けた患者さんとなります。

### 研究結果の利用と倫理的事項：

研究結果は 2023 年の日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会での発表を予定しています。本研究は純粋な観察研究であり、患者さんへの直接的な介入や侵襲はありません。また、情報は匿名化され、研究結果を公表する際には個人が特定されることはありません。

本研究の対象に該当する可能性のある患者さんで、ご自身の情報等が研究に利用されることを希望されない方は下記にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生じることはありません。

### 問い合わせ先：

研究責任者：薬剤部 薬剤師 藤田奈緒子  
住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36  
電話：046-823-2630  
受付時間：平日 8:30～17:00